

倉浜衛生施設組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

実施状況（2022年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業により排出された2022年度の温室効果ガス排出量は、61,210,411kg-CO2で、基準年度(2019年度)に比べ、17,690,622kg-CO2減少しました。

減少した主な要因は、総排出量の95.61%を廃棄物の焼却が占めているため、表2に示すエコトピア池原（熱回収施設）からの排出量の減少が大きいと考えられます。廃棄物焼却の内廃プラスチック焼却量がCO2排出量の大部分を占めており、2022年度の廃プラスチック焼却からの排出量は、57,377,780kg-CO2で、基準年度（2019年度）に比べ、17,995,065kg-CO2減少していることがCO2排出量減少の理由となっております。

表1 基準年度との比較

区分	排出量（単位：kg-CO2）		削減量（削減率） （単位：kg-CO2）
	基準年度（2019年度）	2022年度	
温室効果ガス	78,966,971	61,276,349	△ 17,690,622 (△ 22.40 %)

2 倉浜衛生施設組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表2 2022年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位：kg-CO2）		
		基準年度 (2019年度)	2022年度	比較
1	エコトピア池原 (熱回収施設)	78,010,284	60,668,157	△ 17,342,127
2	エコループ池原 (リサイクルセンター)	51,719	49,463	△ 2,256
3	エコボウル池原 (最終処分場)	436,125	355,361	△ 80,764
4	清水苑 (し尿処理施設)	462,731	199,566	△ 263,165
5	管理棟	6,112	3,802	△ 2,310
	合 計	78,966,971	61,276,349	△ 17,690,622

3 要因別温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の95.61%を占め、次いで燃料の使用によるものが1.29%となっています。

表3 2022年度要因別の温室効果ガス排出状況

称 項目	施設名	施設別の活動量(2022年度)						CO ₂ 排出量 [kg-CO ₂]	合計	割合(%)
		エコトピア 池原	エコルー プ 池原	エコボウ ル 倉浜	清水苑	管理棟	計			
燃料の使用	ガソリン[L]	903	0	380	746	1,556	3,585	8,317	1,893,250	3.09%
	灯油[L]	728,000	0	0	0	0	728,000	1,812,720		
	軽油[L]	4,103	19,073	1,843	1,392	0	26,411	68,140		
	LPG[m ³]	622	0	0	0	0	622	4,073		
電気の使用[kWh]		353,330	0	487,515	258,465	0	1,099,310	788,205	788,205	1.29%
自動車の走行	ガソリン[km]	2,953	0	10,754	2,368	25,487	41,562	337	590.1	0.00%
	軽油[km]	0	15,863	0	12,397	0	28,260	254		
重機の稼働	軽油[h]	1,956	2,400	0	0	0	4,356	0	0.0	0.00%
	軽油(大型)[h]	0	3,900	206	0	0	4,106	0		
カーエアコンの使用[台]		2	4	3	2	4	15	215	215.0	0.00%
廃棄物の焼却[t]		71,464	0	0	0	0	71,464	1,207,499	58,585,279	95.61%
内廃プラスチック焼却量[t]		20,714	0	0	0	0	20,714	57,377,780		
し尿の処理[m ³]		0	0	0	7,180	0	7,180	8,810	8,810	0.01%
CO ₂ 排出量[kg-CO ₂]								61,276,349	61,276,349	

図1 2022年度要因別の温室効果ガス排出状況

